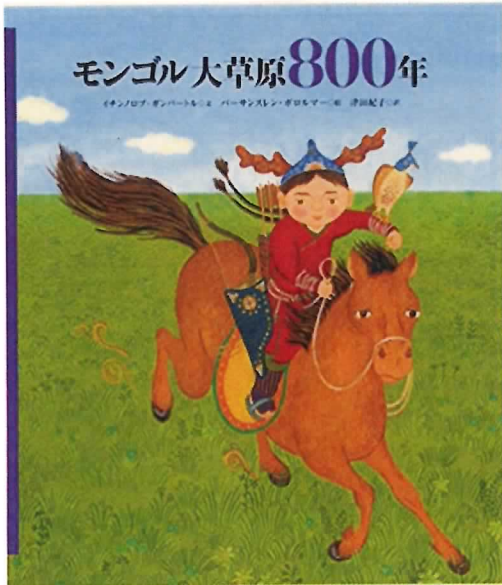


# よんでネット\*

## 秋号

発行□茅ヶ崎市立図書館／協力□茅ヶ崎図書館子どもの本の会



## 「モンゴル大草原 800年」

チンギス・ハンとモンゴルの歴史 津田紀子訳

「モンゴル」って知ってる？ 強いおすもうさんの国？  
 ス・ホの白い馬の国？ 昔、モンゴルの人びとは、ゲル  
 という組み立て式の家にすみ、馬にのりて移動  
 しながらくらしていました。やがて、チンギス・ハンの  
 騎馬軍団は世界一大きな国をつくりました。

福音館書店 [E・絵本のコーナー]

人びとは町をつくり、仏教を信じるようになり、

生活は変わりました。でも、今も人びとは、うれしい時も、かなしい時も、  
 馬とともに生きています。

## 「いろいろ いろいろな かぞくのほん」

メアリ・ホフマンぶん ロス・アスクスえ すぎもとえみ やく

家族のかたちはいろいろ。大家族もあれば  
 ふたり、きりの家族もある。ペットを家族と思っている  
 人もいる。すんでいる家や、学校や仕事も、それぞれ  
 ちがう。おでかけのしかたもいろいろ。歩いたり、車に  
 のったり、それともヘリコプター-!? 食べ物をお店で  
 買う家族は多いけど、自分たちで育てる家族もある。きみの家族は、どんな家族？



少年写真新聞社 [E・絵本のコーナー]

# 「あべ弘士 どうぶつ クイズ教室」



クレヨンハウス [48ア]

♪キンコン.カンコン<sup>し いく がかり</sup> 先生が教室に入ってきました。  
先生は動物園で飼育係をしていた あべ弘士<sup>ひろし</sup>さん。  
今日は、動物と自然の勉強です。むずかしそう？  
いえいえ なかなか おもしろいんです。“うさぎやコアラの  
赤ちゃんが うんこ<sup>うんこ</sup>を食べる”とか、“おっばいのないトリが  
おっばいでヒナを育てる”とか、へえー、と思うことばかり。  
こんな問題<sup>もんだい</sup>も出ます。“キリンとカバの指をたすヒ何本？”

# 「さよなら、おばけ団地」 藤重ヒカル作 浜野史子画



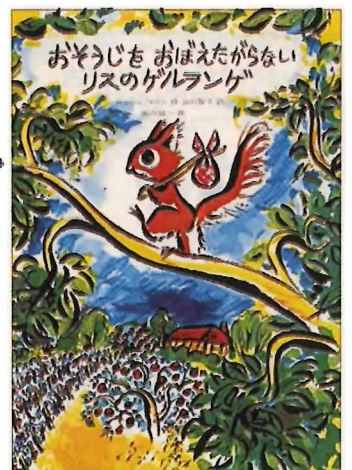
福音館書店 [913フ]

結衣<sup>ゆい</sup>の住む桜<sup>さくら</sup>が谷<sup>や</sup>団地<sup>だんち</sup>には、こんなうわさ<sup>うわさ</sup>が  
ありました。真<sup>ま</sup>夜中<sup>よなか</sup>、あるはずのない四号棟<sup>しごうどう</sup>が現れ、  
ぜんぶの窓<sup>まど</sup>に真<sup>ま</sup>赤<sup>あか</sup>なあかり<sup>あかり</sup>がつく。消えた子<sup>こ</sup>ども<sup>ども</sup>たちの  
ゆうれい<sup>ゆうれい</sup>がでる。給水塔<sup>きゅうすいとう</sup>の上に、黒マント<sup>くろまんと</sup>の男<sup>おとこ</sup>が現れる…。  
でもほんとうは、おばけ<sup>おばけ</sup>やゆうれい<sup>ゆうれい</sup>より、もっとふしぎな<sup>ふしぎな</sup>ことが  
おきていたのです。「おばけ団地<sup>おばけだんち</sup>」とよばれる古い団地<sup>だんち</sup>の物語。

# 「おそうじをおぼえたがらないリスのゲルランゲ」

J・ロッシュ = マゾン 作 山口智子 訳 堀内誠一 画

ゲルランゲ<sup>ゲルランゲ</sup>は意地<sup>いぢ</sup>っぱり<sup>っぱり</sup>でなまけ者<sup>もの</sup>。おそうじ<sup>おそうじ</sup>が大きい。  
だって、自慢<sup>じまん</sup>のしっぽ<sup>しっぽ</sup>がよごれてしまうもの！ ある日とうとう  
おばあさんリス<sup>おばあさんリス</sup>が言いました。「おそうじ<sup>おそうじ</sup>をおぼえるのがいや  
だったら出ていってもらいます」<sup>の じやく</sup>「ぼく、野宿<sup>の じやく</sup>をした、ていい。オカシ  
食<sup>た</sup>べられた、ていい。でも、おそうじ<sup>おそうじ</sup>だけは おぼえたくない」  
続き<sup>つぎ</sup>に「け、こん<sup>こん</sup>をしたがらないリスのゲルランゲ<sup>ゲルランゲ</sup>」もあります。



福音館書店 [953ロ]